

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 本市の地産地消の取り組みについて</p> <p>【質問趣旨】 3月定例会の代表質問で答弁をいただいたように、本市は、「瀬戸で作る、瀬戸で食べる」を目標として、学校給食への地元農畜産物を提供する体制の構築、安心・安全な農畜産物の供給及び加工品の開発により地元農畜産物の消費拡大など取り組んだ結果、道の駅瀬戸しなのの開設時期に比べ、農業産出額が3割増となっている。今後も計画に基づき、地元農畜産物の需要と供給の拡大を図り、農業を継続できる環境づくりを進めていくとしている。本年3月には第2次瀬戸市地産地消推進計画を策定されたが、</p>	<p>(1) 学校給食で使用する農産物の生産について</p> <p>(2) 道の駅利用者等消費者が望む農産物の生産について</p> <p>(3) 安全安心な農産物の生産について</p>	<p>①玉ねぎが生産の軸となっているが、安定して提供するには品種・時期、新規就農者の納入活用、農協との連携による通知・指導等が重要になってくるが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>②玉ねぎにおいて規格外となった農産物についてはどのように活用していくのか伺う。</p> <p>③玉ねぎ以外で提供の軸となりうる農産物についてはどのように検討しているのか伺う。</p> <p>④学校給食に提供するには、試験的な提供を繰り返し、本格的な提供へと結び付けていくことになるが、具体的な手順について伺う。</p> <p>①消費者等が望む農産物の調査について、どのような方法を取られるのか伺う。</p> <p>②瀬戸の地の利を活かした農産物の提供については、どのように考えているのか伺う。</p> <p>③化学合成農薬の使用回数を低減した栽培や農業生産工程管理（GAP）の導入については、どのように進めていくのか伺う。</p> <p>①瀬戸市推奨農産物「せとのもの」認証制度を活用した取り組みを行ったが、売り上げの上昇という効果は出ておらず、制度を使用する利点が十分出せていない課題がある。制度の知名度が低いことから、ホームページやノボリの制作など道の駅でのPRを強化し、販売支援をしていくとされているが、その効果はどのようなか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>今後の取り組みについて伺うとともに、SDGsの観点からも伺う。</p>	<p>(4) 瀬戸の豚の消費拡大について</p> <p>(5) 食育と連動したPRの実施について</p> <p>(6) 安定した販路の提供について</p>	<p>②作付面積が小さくても出荷量を確保できる農産物にも適用できるか検討し、多くの農業者に参加してもらえる制度に見直すとされているが、品種等どのような検討をしているのか伺う。</p> <p>①出荷再開に合わせて、これまでどのような消費支援に取り組んでこられたのか伺う。</p> <p>②学校給食での使用に関しては、どのような検討状況か伺う。</p> <p>①収穫体験、農業展、学校での会食会・授業の実施、紙媒体・ホームページでの情報発信に取り組まれるが、以前の取り組みの継続と考えていいのか、もしくは何か新しい内容を考えているのか伺う。</p> <p>②本計画には「地産地消サポーター制度」ということばが出てくるが、どのような内容をイメージしたものか伺う。</p> <p>①道の駅が拠点となってくるが、やはり生産者の会等との連携強化が不可欠だと考える。瀬戸市産農畜産物の取扱い品目数60%を目標としているが、今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>②ふるさと納税の返礼品も重要な販路だと考えるが、瀬戸の豚以外にも可能性はあると考えるのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25 番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(7) 農民官が連携した商品開発について</p> <p>(8) 農業塾について</p> <p>(9) 市民菜園について</p> <p>(10) 鳥獣(イノシシ)対策について</p>	<p>①既存製品の改良、食堂のメニューの開発について、これまでも取り組んでこられたと思うが、その手ごたえと今後の取り組みについて伺う。</p> <p>②他地域との差別化、加工品開発及び販路開拓の取り組みに対する補助制度を設けるとしているが、制度について具体的に伺う。</p> <p>①土づくりや病気対策などを講座に加え、内容の見直しをされているが、塾生の反応はどのようなか伺う。</p> <p>②国の補助金等を活用して新規就農や施設整備の支援をされるが、支援内容を具体的に伺う。</p> <p>①市民菜園の整備等が課題となっているが、どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>①イノシシの捕獲頭数と農作物被害面積・額の推移に関しては、年度ごとにばらつきがあるが、どのように分析をし、今後に活かしていかれるのか伺う。</p> <p>②過去の話にはなるが、平成27年6月定例会の一般質問において長野県塩尻市のICTを導入した鳥獣対策の取り組みを紹介し、見解を伺った。答弁としては検討を続けていくということであったが、その間どのような議論がなされてきたのか伺う。</p> <p>③この程、本格的にICT等の導入の検討をされていくということだが、どのような形になるのか現在のイメージについて伺う。</p> <p>④市の補助金については、瀬戸市内に農地を有する市外の方も使用できるように変更された。より使いやすい制度にしていくということだが、どのような見直しが考えられるのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(11) 瀬戸市農地バンク制度について</p> <p>(12) 本市のPR及び啓発の取り組みとSDGs (エシカル消費) の推進について</p> <p>※エシカル消費 授産施設などで作られた商品の購入や、コロナ禍により打撃を受けている事業者・生産者の商品の購入、フェアトレード商品やエコ商品、地産地消、被災地商品の購入など、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと。</p>	<p>①制度の現状と今後の取り組みについて改めて伺う。</p> <p>①広島市は、地産地消を広く知ってもらうために、本年6月20日から、毎月第3日曜日を-ひろしま産 day-「ひろしま地産地消の日」に制定し、小売店等と連携した取り組み、市民へ地産地消の大切さを普及啓発するシンポジウムを開催、SNS等を活用したレシピ動画などを配信、商店街や町内会などと連携し季節ごとに生産者と消費者を繋げる地産地消イベント等を各区で実施するということである。また、“ひろしまそだち”地産地消事業としても事業を進めている。市の規模は異なるが、取り組みとしてはとても参考になると考えるが、どのように考えるのか見解を伺う。</p> <p>②愛知県は、農林水産物が豊富に出回る11月を「いいともあいちキャンペーン月間」としているが、本市としてはどのような取り組みをしているのか伺う。</p> <p>③エシカル消費により公正で持続可能な社会をつくっていく社会、消費者市民社会をめざし、事業者がエシカル消費の推進につながる表示を工夫したり、社会的課題に取り組んだりし、消費者は事業者に情報提供を求め、適切に判断・行動していくことができるよう、啓発や消費者教育に取り組んでいくことが必要と考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。